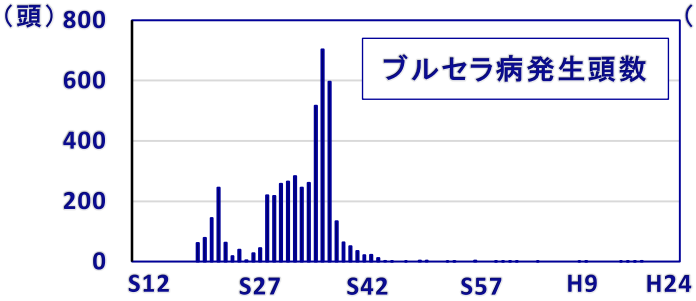
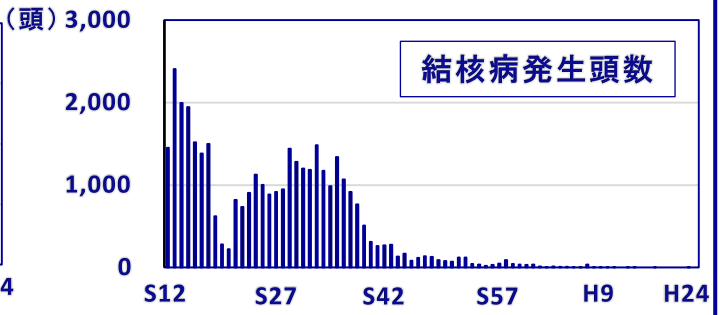
家畜伝染病予防法に基づく牛の検査について

～平成30年4月からブルセラ病・結核病・ヨーネ病の検査が見直されます！～

ブルセラ病・結核病

◆これまで乳用牛を対象に3年毎に全頭検査を行い、ほぼ清浄化を達成しました



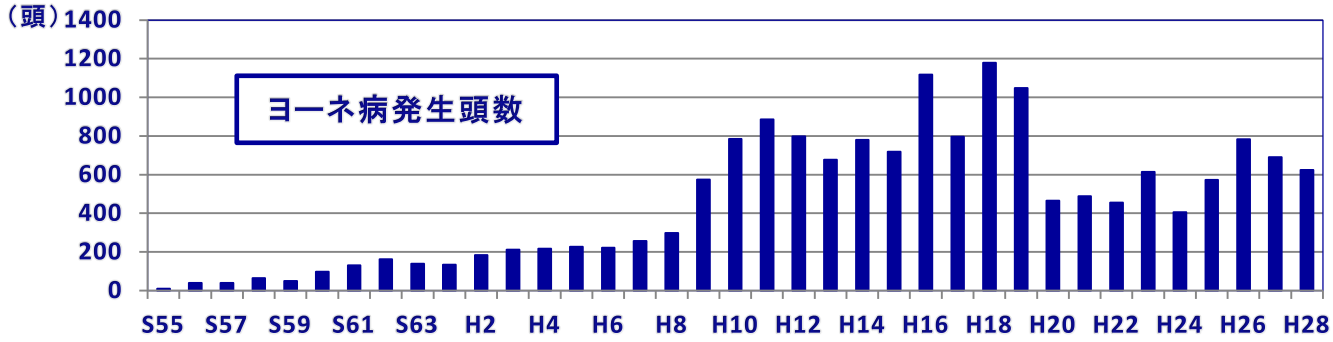


◆平成30～32年度の期間、清浄性確認サーベイランス検査として乳用牛・肉用牛を対象に全国で1年毎に1，344農場の抽出検査を行うこととします
※この期間に全ての検査で陰性と確認されれば日本国は清浄化宣言を行います

◆清浄化宣言の後、平成33年度からは清浄性維持サーベイランス検査として輸入牛や流産牛等のリスクの高い牛を対象に検査を行うこととなります

ヨーネ病

◆依然、全国で発生が確認されており、今後も3年毎の全頭検査を継続します



■ ブルセラ病・結核病の検査は抽出検査に移行

■ ヨーネ病の検査手数料を新設（600円／頭）

■ 健康手帳は希望牛のみ交付

■ 清浄性確認サーベイランスの検査手数料はありません

	手数料（1頭当たり）	
	H30年度から	これまで（～H29年度）
ブルセラ病	0円（抽出検査）	250円（全頭検査）
結核病	0円（抽出検査）	250円（全頭検査）
ヨーネ病	600円（新規設定）	0円（設定なし）
健康手帳	（希望牛のみに交付）	220円（全頭に交付）
計	600円（健康手帳なしの場合）	720円

清浄性確認サーベイランスの対象に抽出される乳用牛、肉用牛農場におきましてはご理解、ご協力をお願いします。

京都府丹後家畜保健衛生所TEL：0772-43-1125（休日・夜間転送）FAX：0772-43-1124